

令和5年度第1回本別町子ども・子育て会議

【議事概要】

日時：令和5年10月5日（木）

午後7時00分～午後7時30分

場所：本別町中央公民館 第1会議室

○委嘱状交付（関係団体の役員改選による）

4人

1 開 会

2 町長挨拶

新しく4名の委員を委嘱した。前任者の残任期間ですが、これからよろしくお願ひします。子どもの環境だが、急激な少子化、出生率の低下により日本の社会構造が危惧されている。そういった観点から、国は本年度にこども家庭庁を新設し、子どもが真ん中の社会を実現するため、子どもと家庭の福祉や健康の向上を支援し、子ども政策に取り組むことになっている。国からこども家庭センターの設置が努力義務とされており、本町でも積極的に設置をしながら未来ある子どもの環境づくりの改善に努めていきたい。

第3期子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、委員皆さんのご意見を賜りながら、実効性のある計画を策定したいと考えますので、よろしくご協力願ひします。

◇町長は別の用務のため挨拶後、退席

◇人事異動により事務局が変更になったので、高橋課長から紹介。

課長 高橋紀尊（住民課から4月1日付） 主査 今野美由紀・副主査 小原彩佳 留任
主事 山崎拓（総務課から5月1日付） 4人体制（昨年より1人増体制）

◇議題に入る前に、新委員4人、事務局1人異動ということ鑑み、改めて会議参加者の自己紹介を行った

【司会進行：川本会長】

3 子ども・子育て会議について（説明：今野主査）

【資料1、資料2参照】

資料に沿って説明。

4 報告事項

(1) 第3期本別町子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて（説明：山崎主事）

【資料3参照】

第3期計画策定に向け、地域の子育てに関するニーズ調査やアンケート結果の検討、パブリックコメントの実施といった完成までの流れについて説明。

第2期計画策定の経過を見ると、ニーズ調査の内容を考えなければならない時期であるが、こども家庭センター設置に向けた内容のすり合わせが必要なため、現在は未着手。

(2) こども家庭センターについて（説明：山崎主事）

【資料4参照】

児童福祉法の改正により、「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」の機能を維持した、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関として「こども家庭センター」の設置に努めることを説明。

本町では、健康管理センターが子育て世代包括支援センターの業務を担っており、子ども家庭総合支援拠点はまだ設立していないが、国から示されるこども家庭センターのガイドラインに合わせて体制を整えていく予定である。

今年度は健康・こども課を新設し、職員を健康管理センターと兼務することで令和6年度のこども家庭センター設置に向け検討しているところである。

(3) 令和5年度半期経過報告（説明：今野主査）

【資料5参照】

令和5年度上半期における各事業の実施状況及び令和5年度の事業・予算について説明。

(4) 本別町デジタル田園都市総合戦略推進委員会委員の推薦について（説明：山崎主事）

「本別町まち・ひと・しごと創生推進委員会」から名称が変更された。

6月に推進委員の推薦依頼があり、川本会長に確認し、引き続き小笠原副会長を推進委員として推薦した。なお、任期は2年間。

4 その他

特になし。

5 閉会